

NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役としても知られ、各地で活躍中のチェンバロ/オルガン奏者、大塚直哉氏による演奏とトーク。「劇場」にちなんで、バロック期のオペラや舞踊の音楽を、北大総合博物館所有のポプラチェンバロによる温かい音色でお楽しみください。

C e m b a l o

「ポプラのチェンバロ」は、2004年の台風18号で倒れた北海道大学のポプラ並木のポプラを材料に作られました。バロック風の静謐な佇まいのチェンバロですが、その鍵盤の一つひとつには、ポプラ並木の再生を願う人々の熱い思いがこめられています。北海道教育大学 故 市川信一郎教授により提案され、横田ハープシコード工房 横田誠三氏により2年をかけて製作されたポプラチェンバロは、北大を象徴する色である緑色で縁取りされ、100年を生きたポプラの深みを感じられる、素晴らしい出来映えとなっています。2006年に北海道大学クラーク会館で開催されたチェンバロ完成記念コンサートでは、札幌農学校1期生の大島正健を高祖父に持つ若きチェンバリスト

水永牧子氏を演奏者に迎え、会場に詰めかけた500名以上の市民や卒業生を前に恵迪寮歌「都ぞ弥生」など7曲が披露されました。その後、総合博物館チェンバロボランティアが継続的に維持・管理しており、週に一度、演奏会が行われています。



チェンバロには、ラテン語で下記の銘文が刻まれています。

ポプラこの古の大志、札幌の地に育まれ
2004年 嵐によって倒れ
2006年 ここに蘇る

PROFILE

大塚 直哉

Naoya OTSUKA



東京藝術大学楽理科を経て同大学大学院チェンバロ専攻修了、アムステルダム・スウェーリング音楽院チェンバロ科及びオルガン科卒業。チェンバロを鈴木雅明、渡邊

順生、小林道夫、B.v.アスペレン、オルガンを今井奈緒子、早島万紀子、J.v.オールドメルセン、廣野嗣雄、クラヴィコードをM.v.デルフトの各氏に師事。アムステルダム郊外の聖ウルバヌス教会のオルガニストを務めたほか、ヨーロッパの各地で演奏活動を行う。1999年より東京に拠点を移し、「アンサンブル コルディエ」「バッハ・コレギウム・ジャパン」などのアンサンブルにおける通奏低音奏者として、またチェンバロ、オルガン、クラヴィコードのソリストとして活躍。また、こうした古い時代の鍵盤楽器に初めて触れる人のためのワークショップを全国各地で行っている。近年はさらに、CDやコンサートなど音楽事業の企画や指揮の分野にも取り組み、活動領域を広げている。チェンバロのソロCD「大塚直哉：トッカーレ[触れる]」「クラヴィス〜鍵〜」「ルイ・クーラン：クラヴサン曲集」、ヴァイオリンの桐山建志とのシリーズCD「J.S.バッハ：ヴァイオリンとチェンバロのための作品集」全5巻(ALM RECORDS)のほか、多くの録音に参加。現在、東京藝術大学音楽学部准教授、国立音楽大学及び東京音楽大学非常勤講師、宮崎県立芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場、台東区旧奏楽堂のオルガン事業アドバイザーを務める。「アンサンブル コルディエ」音楽監督。NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役として出演中。公式サイト <http://utremi.na.coocan.jp/>

総合博物館への地図と交通案内

JR・地下鉄をご利用の場合 ■ JR「札幌」駅・札幌市営地下鉄南北線・東豊線「さっぽろ」駅下車 徒歩10分
※クラーク像とポプラ並木のちょうど中間にあります。

駐車場はありません。公共交通機関のご利用をお願いします。

【アクセスに関するお問い合わせ】

北海道大学総合博物館 〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 TEL:011-706-2658

HP <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>



札幌市民交流プラザ

札幌市民交流プラザは、2018年10月、札幌都心に誕生する新しい施設です。札幌文化芸術劇場、札幌文化芸術交流センター、札幌市図書・情報館からなり、札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点となることを目指します。隣接する高層棟には放送局やオフィスが入居するほか、地下には駐車場や公共駐輪場などが整備されます。詳しい情報は、札幌市民交流プラザHPをご覧ください。

【お問い合わせ】

市民交流プラザ開設準備室 文化芸術劇場事業課

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL:011-242-5800(平日9:00~17:00)

HP <http://sapporo-community-plaza.jp>

Twitter @Sapporocomplaza Facebook Sapporo.Community.Plaza



札幌市民交流プラザ(建物右側)外観

